

レコードなどのアナログ音楽をパソコンに取りこむABC

2008年1月 伊藤 達彦

最近、SD・RD用のアナログレコードからパソコンへ音楽を取りこむ方法を聞かれる機会が増えています。自分のパソコン環境に合わせて、今持っている機材にどんな物が必要なのかを考えていただくための「ABC」を紹介しておきます。

Aタイプ 次の機器の環境がある場合

1. 速度調整機能付きのプレーヤー 2. USB端子で音楽を取りこめるオーディオプロセッサー 3. パソコン



速度調整付き
レコードプレーヤー



音楽取りこみソフト
が付属しています。

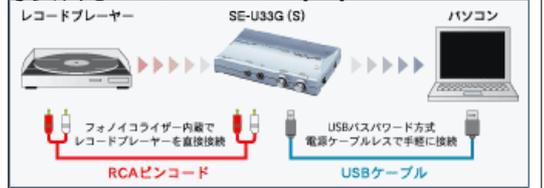


- CPU: PenM 1.6GHz
- メモリ: 256MB
- HDD: 4GB
- DVDコンボ

例:

ONKYO SE-U33GXP 約1万円
USB オーディオプロセッサー

接続イメージ図



Bタイプ

速度調整機能のあるプレーヤーが無い場合

パソコンとUSB端子で接続して音楽を取りこめる
「優れ物」のプレーヤーが発売されました!

ヌマーク NUMARK TTUSB

サウンドハウス 17,000円



速度調整機能付き
+10%
BELT DRIVE

iPTUSB ビidders bidsders 最安価格 15,910円
ポータブルUSBターンテーブル



本体価格: ¥17,800
税込価格: ¥18,890



<http://www.bidders.co.jp/pitem/94270273>

このプレーヤーは、SD用アンプのHilton MA-150, MA-500型等に接続して使用できます。

- ①プレーヤーを持っていない。
- ②オーディオプロセッサーもこれから・・・
と言う人には、これをお勧め!!

Cタイプ

「ライン入力端子」が付属している【特別なパソコン】がある場合

この「ライン入力端子」が初めから付いているパソコンなら、【間にかませるオーディオプロセッサー】は不要なのです。メーカーによって、探せば付属している機種も時々あります。



ヘッドホン端子 ライン入力 マイク入力端子

ステレオミニコネクタにアンプのライン入力へつないで音を出す。レコードプレーヤーやMDをステレオミニコネクタで接続する。

音楽を取りこんだ後に、MP3形式に圧縮してやるソフトで容量を小さくする。

